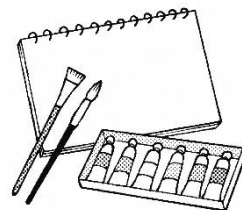


きゅうしょくたより

令和5年11月号

高岡市立伏木小学校

11月23日は、勤労感謝の日です。この日は、「勤労をたっとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日とされています。感謝の気持ちを持って食事をしましょう。



11月は「富山県食育推進月間」です！

地元でとれた農産物や県内で作られた食材を学校給食に積極的に取り入れること（**地産地消**）で、家庭・地域・市町村との連携をより深め、心身ともに健康な子どもを育成することを目的に行われるものです。本校では、**24日**を「学校給食とやまの日」とし、富山県の呉西地区でとれた食材をたくさん使用した「**呉西（ゴーセイ）な日!!**」給食を予定しています。呉西地区とは、氷見市、高岡市、射水市、小矢部市、砺波市、南砺市の6つの市からなっています。「ごせい」には、おいしい食材がたくさん入った豪華という意味の「ゴーセイ」と、県の西側の「呉西」という2つの意味があります。

地産地消（ちさんちしょう）とは

地域で生産されたものを
地域で消費すること

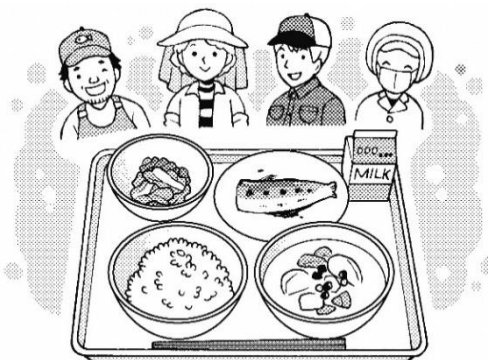
地産地消のよいところ

- ★新鮮な旬の食べ物を食べることができます。
- ★作っている人が分かり、安全・安心です。
- ★流通などに使うエネルギーの節約につながります。

給食は多くの人に支えられています

給食がわたしたちのところに届くまでに、多くの人がかかわっています。魚をとったり、牛や豚などを育てたり、米や野菜をつくったりする人、食べ物を運んだり売ったりする人、給食の献立を考える人、献立をもとに給食をつくる人などです。

これらの人たちの苦勞や努力に支えられて、わたしたちは、給食を食べることができます。



感謝の気持ちを込めて残さず食べよう



食事は、食にかかわる人たちだけではなく、自然の恩恵のうえに成り立っています。食べ切れずに残すと、そのまま捨てられて、食べ物や労力が無駄になってしまいます。食べ切れる量を盛り付けてもらい、残さず食べるようにしましょう。